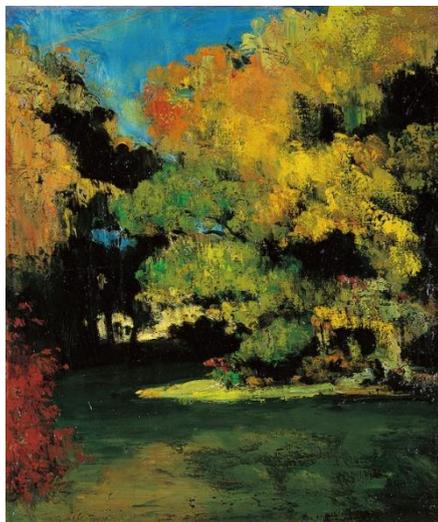


art 諸橋近代美術館 展覧会「ミュージアム・ワークスーみんなの知らない美術館」



ポール・セザンヌ 《林間の空地》
1867年 油彩／カンヴァス

美術館の主要な役割には「作品収集」「展示」「調査研究」「教育普及」「保存」の5つがあります。本展では美術作品を後世へと守り継ぐための重要な役割を担う「保存」にスポットライトをあて、事例を通して美術館の裏側をご紹介します。

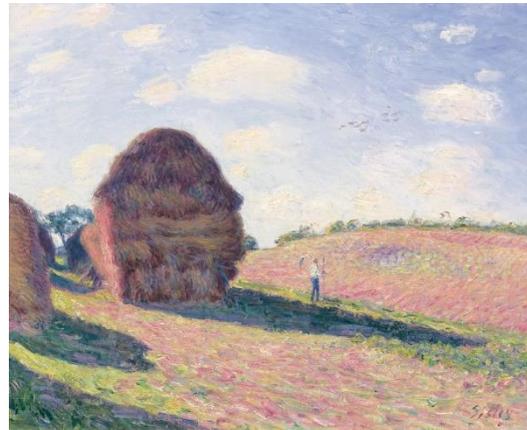
第1章「構造と材質」では、作品が何の材質でどのように構成されているか把握するため、材質の紹介や作品調査結果などをご紹介します展示を行っております。当館で所蔵するポール・セザンヌ《林間の空地》(1867年)にはセザンヌの初期に見られる特徴的なパレットナイフを使った厚塗り描写が施されていますが、作品の状態や技法・材料などの分析調査を行ったところ、木の幹などの一部が筆で描かれている形跡がみられました。また、オリジナルのカンヴァスから画面のみを切り取って新しいカンヴァスに裏打ちされていることも観察されたのです。一見すると地味な発見ではありますが、材質によって適切な保存環境や方法があり、起きやすい損傷や劣化はそれぞれ異なるため、これらの調査結果は長きにわたって作品を保存していく上での重要な第一歩となるのです。

第2章「展示と修復」では、作品へのダメージを少なくするための展示や輸送方法、温度・湿度の管理や虫害への対策、過去の作品修復の事例などを中心にご紹介いたします。アルフレッド・シスレー《積み藁》(1895年)は、額装の損傷が激しく、構造的な問題も見られ、作品を安全に展示するために修復を行いました。日々、作品へのダメージを最小限にするため慎重に取り扱っていても、やむをえず損傷、劣化してしまった作品については専門家が作品の状態や構造を細かく調査し、材質に合わせて修復を行います。

第3章「保存の歴史」では、古来の保存の工夫である曝涼(虫干し)にならない、長いあいだ展示機会がなかったサルバドール・ダリの版画作品などを一堂に展示します。また、美術館の重要な仕事の一つである作品の「点検」について、使用する道具や一連の流れも併せてご紹介しております。点検は、おおよそ展覧会の始まる前と終了後、または他の美術館に作品を貸し出す際の作品輸送の前後で行われるのが通例ですが、この時点で作品が壊れていたり、作品自体に異常がなくとも額装や保護ガラスの破損などが発覚した場合、作品の安全のため出品を取りやめ、修復を計画することもあります。

これら美術館の知られざる役割や仕事を丁寧に紐解くことにより、美術館やそこに展示される作品を新たな視点で再考する場になれば幸いです。

諸橋近代美術館 学芸員 石澤夏帆



アルフレッド・シスレー 《積み藁》
1895年 油彩／カンヴァス

<展覧会>

ミュージアム・ワークス ーみんなの知らない「美術館」

会場／諸橋近代美術館

(北塩原村桧原剣ヶ峯 1093-23)

期間／2023年11月12日まで開催

時間／9:30～17:00(最終入館 16:30)

料金／一般 1,300円 高・大学生 500円

中学生以下無料

お問合せ／0241-37-1088

<https://www.dali.jp/>

私の交換留学（2022年9月～2023年夏）

こんにちは。2019年の春まで福島日仏協会のフランス語教室に通っておりました、赤城みうと申します。現在は東北大学文学部4年生で、フランスのリヨン政治学院という学校で交換留学をしています。福島を離れてもなお、福島の日仏協会会報誌に寄稿できることを嬉しく思います。今回は、留学先での生活をテーマに書きたいと思います。

まず、留学先の大学についてです。私は大学の交換留学制度を利用し、リヨン政治学院で2022年の9月から2023年の5月の2学期間、授業を受けました。社会学から歴史、ジャーナリズム、法律など、社会科学の幅広い分野を学べるのが政治学院の特徴です。私がリヨン政治学院を留学先として選んだのは、ジャーナリズムを勉強したかったことと、リヨンでの生活に惹かれたのが理由です。目的としていたジャーナリズムの授業のみならず他の授業もどれも面白く、勉強したい気持ちや好奇心が掻き立てられる授業を受講することができました。特に、Dissertation という小論文を書く課題が多くあり、フランス語の筆記を苦手としていた私にとって力を伸ばす良い機会になりました。フランス人の友人の書く文章はとても美しく、私は到底そのレベルには及びませんが、留学前よりは筆記に対する自信がつかしました。

リヨンでの生活も、良い思い出の一つです。リyonは大きすぎず小さすぎず、学生生活を送るにあたってふさわしい街だと感じています。リyonを貫くローヌ川とソーヌ川に沿った河原は、みんなの憩いの場でした。リyonの学生の溜まり場はローヌ川と言っても過言ではなく、暖かい時期には川沿いのベンチでピクニックをしたり、ただ集まって夜まで話したりしていました。リyonでは、フランス人の学生はもちろん、台湾やイタリア、メキシコから留学に来ている学生と親しくしていました。良い思い出が非常に多く、1年があつという間に過ぎていったという実感があります。またリyonに戻るものがあつたら、その友人たちと過ごしたこの1年のことを思い出したいと思います。

そして現在は、パリでインターンシップをしています。日本でフランス語を学んでいる人なら目にしたことがある人も多いであろう、Ovni という月刊の新聞を出版している会社で2ヶ月働かせていただいています。ちなみに、私がOvniを知ったのは福島日仏協会から定期的にOvniが送られていたことがきっかけです。現在もOvniを会員の方に送付しているのかは分かりませんが、ここでお礼をさせていただきたいです。ありがとうございます。まだ始まって間もないですが、新聞がどのようにして出来上がっていくのか、会社がどのようにして成り立っているのかを実際に見ることができ、とてもいい経験をさせ



リヨンの風景



リヨン政治学院前友人たちと1枚

ていただいています。いくつかオンラインの記事も書かせていただいているので、Ovniのホームページをチェックしていただけたら幸いです。

フランスでインターンシップをすることは、留学をする以前からの夢でした。フランスでは、インターンが会社と学校の契約によって成立することが法律で定められていて、働く学生が法で守られています。また、ある程度まとまった期間会社で受け入れてくれるので、会社もインターン生の育成に時間を割いてくれるし、学生の身分で会社での経験をさせてもらえるのはまたとない機会です。さらに私は、日本との関わりを持ちたいという希望と、メディアで働きたいという希望があつたので、Ovniでのインターンシップは私にとって最高の機会でした。残りの期間も、最大限吸収してこようと思います。

福島日仏協会でフランス語のレッスンを始めたころは、こんなにフランス語を使い続け、フランスとの関わりを持ち続けるとはあまり考えていませんでした。しかし今では、フランスでの思い出やフランス語を通じてできた経験が私のモチベーションになっています。私の大学での交換留学はこの夏に終わりますが、これからもフランス語を磨き続けます。そして目標に向かって楽しみながら努力をして、なりたい大人になれるように頑張ります。ありがとうございました。

赤城みう（元 会話教室受講生）

令和5年度社員総会を5月25日(木) 会場エルティーで開催しました

3年ぶりの出席会員86名(内委任状54名)の総会でした。

第1号議案 令和4年度事業報告と収支決算

第2号議案 令和5年度事業計画と収支予算

原案通り可決されました。

第3号議案 任期満了による監事の選任

監事鈴木秀雄氏と本田久美子氏の2名の重任が可決された後、動議で五阿弥宏安新理事の選任が可決されて、全ての議案が原案及び動議どおりの審議が終了して、ピアノコンサートになりました。

演奏者本田勇介氏による、

ショパン ノクターン「遺作」嬰ハ短調

ショパン 英雄ポロネーズ

シューマン リスト編曲「献呈」

久しぶりにクラシック演奏の披露となりました。

来賓の方、ご同伴者を交えて全員が静聴されるなか奏者本田氏のパワーある伸びやかな音が会場全体に響きわたり、演奏を44名(来賓4名様・会員33名ご同伴7名様)全員が堪能しました。この後、懇親に移り、

・芳見弘一副理事長の挨拶、

・佐藤万里子在仙台フランス名誉領事から来賓ご祝辞

・田中正人仙台日仏協会会長の乾杯ご発声 の後、

懇親の時間を過ごしました。

クリスマス会同様、久しぶりの再会に会員諸氏は「出席あつての日仏協会の交流目的」を実感し、飲物と美味しい料理もはかどりました。ご同伴7名様も雰囲気盛り上げていただきました。菅野喜代治様連続して新ご同伴者と出席され賑やかとなりました。

来賓マリクレール仙台院長が完璧なベジタリアンで、料理長渾身の特別仏料理に満足の反応で会場側スタッフも安堵した様子でした。宴もたけなわの「中締め」を横山淳理事にお願いし壇上での心地よさからか数分の楽しいご発言を経て、一本締めで最後も盛り上がりました。今年度も日仏協会を宜しくお願いいたします。

4月～6月で会員数が増加して102名(3月末95名)となっております。会話教室、料理教室共に、常時受講生を募集しております。

フランス料理を楽しむ会 2023年度 今後5回の講座日程のご案内

コース	月曜日コース	水曜日コース
日程	9/11、10/16、11/6、2/5(予定)、3/11(予定)	9/13、10/11、11/8、2/7(予定)、3/13(予定)
講師	料理担当 渡邊 昭徳 (アルソーニ オーナーシェフ) 菓子担当 相良 栄二 (大玉ベース パティシエ)	菅野 喜代治 (元カナル オーナーシェフ)
教室	MAX ふくしま4F A・O・Z (アオウゼ) 午前10時～	
	※受講人数制限(会場側から12名以内の条件です)	
	※エプロンとランチョンマットを各自持参して下さい。※時間厳守をお願いします。	

国果

日本の国花は「桜」と「菊」、国鳥は「キジ」だが、国果は何でしょう？

答えは「柿」である。柿は古くから日本で栽培されてきた果実で、昔から重要な栄養補給源とされ、「柿が赤くなると医者者は青くなる」という諺が示す通りである。柿といえは「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」という正岡子規の俳句が有名であるが、子規は明治28年10月26日に奈良旅行を開始した。これが由来で10月26日は「柿の日」と定められている。

柿はフランス語やドイツ語でも kaki といい、英語では kaki fruit という。英語の persimmon という言葉があるが、あれは「柿の木」を指す。ちなみにイタリア語では cachi と書くが、イタリア語では語尾が i で終わると、複数形を意味するので(スパゲッティの1本は spaghetti、2本以上は spaghetti のように)、cachi の単数は caco と

いう。なんだかどこかの国にプリンセスのような名ですね。

“みしらず柿”は福島県会津地方で栽培されている渋柿で、福島県の代表的特産物とされている。“みしらず柿”は「身知らず柿」といわれ、柿の木が重みで折れてしまうほどの大きさのたわわな実を付けることから名づけられたという説や、あまりにもおいしい柿なので身の程知らずに沢山食べてしまうなどの説がある。“みしらず柿”は元来は渋柿であるが、通常ではアルコール等で渋抜きしてから食べる。美味しい“みしらず柿”を食べるたびに先人はどうしてこの渋抜きの方法を思いついたのか、いつも想うのである。



土屋敦雄(会員)

会話「福島教室」新任講師のサラ・アムリ (Sarah・Amri) です。

こんにちは、福島の新しいフランス語教師となりましたサラです。



私はパリから来ました。フランスの首都パリは、多文化で多様性に富み、素晴らしいエネルギーを都市ですが、私は落ち着いた生活のリズムを見つけるために、時にはパリを離れることもあります。

フランス東部のストラスブールは、私が留学していた場所です。ストラスブールは、いくつかの国の交差点にあるだけでなく、毎年ヨーロッパで最も美しいクリスマスマーケットが約1ヶ月間開催されます。訪れた人々の目と舌を楽しませてくれます！

この10年間、私はたくさんの旅をしてきました。旅は私にとって必要なもので、生きていることを実感でき、加えて、居心地のいい場所から抜け出すこともできます。

私の一番の楽しみは新しい文化を発見すること、他の国籍の人々と強い絆を築くこと、他の生活様式を体験することです。更に、教えることは自分自身も学び続ける素晴らしい方法だと思います。このような思いから、日本に来ることを決めました。

小さい頃からアジア大陸に惹かれていました、そして、日本のポップカルチャーに興味を持ったのは10代の頃で、多くのフランス人と同じように日本を知るきっかけとなりました。それから大学で柔術を始めました。私の先生は、この時期の私の人生の真の師でした。授業の内容へ日本に関する様々な逸話を盛り込むだけでなく、尊敬や自制心といった大切な価値観を教えてくださいました。そのおかげで、歴史と伝統に魅了されるこの国への興味が強まりました。

ブルガリアでの2年間を経て、2023年8月に仙台のアリアンス・フランセーズに着任しました。日本で教えることで、私は夢を叶えようとしていますが、何よりも、アジアで教師としてのキャリアをスタートさせるために、環境を変えることができるこの国で経験を積みたいと思っています。

私の授業では、とても思いやりのあるクラスメートとして、安心して誰でも失敗してもいいし、一人一人の声を大切にしたいと考えています。よく成功する授業とは、教師よりも学習者が自分自身を表現するものだと言われます。積極的に発言すればするほど、上達しより快適に話せるようになるかと確信しています。

皆様にお会いできることを楽しみにしています！

サラ・アムリ

2023年(令和5年)度フランス語会話教室授業日程及び時間割

8月	26			
9月	2	16	23	30
10月	14	21		
11月	18			
12月	2	9	16	
1月	13	20	27	
2月	10	17		
3月	2	9	16	30

授業は、年度間30回

講座	時間	受講料
初級1	10:00~11:00	78,000円
上級	11:00~12:00	90,000円
初級2	12:00~13:20	78,000円
入門	14:00~15:00	78,000円
中級	15:00~16:20	78,000円
準上級	16:20~17:40	82,000円

※4回分納可 (中、高生68,000円)

2年間の契約期間が満了し、ノエミ・レキ講師がアリアンス名古屋に転任されました。後任のサラ・アムリ講師に、自己紹介を兼ねて就任のご挨拶文をいただきました。期の途中の担当講師の交代で受講生の方にはスケジュール調整に戸惑った方もありました。今後の新規受講料は「上記受講料」から30回に足りない回数分を減じた金額となります。お試し参加(無料)の後、次回受講時には自分の適性講座を選択していただきます。

